

# 平成31(2019)年度 実務経験のある教員による授業科目一覧

医療保健学部 看護学科

(No.1)

科目番号	授業科目名	単位数	授業内容(実務経験を活かした教育内容等)
11031	機能看護学Ⅱ(キャリアマネジメント)	1	看護師として病院での実務経験のある教員や職能団体での実務経験のある教員が専門職としてのキャリアをマネジメントする上で活用可能な資源について教授し、マネジメント方法の学修を支援する科目である。
11032	機能看護学Ⅲ(組織とマネジメント)	1	看護師として病院での実務経験のある教員が優れた組織の条件や看護組織に関する基本的知識を享受し、よい看護をするための組織・チームの、個人のあり方について理解する演習を指導する。
11033	機能看護学Ⅳ:トップマネジメント	1	現職の看護師が履修する大学院の授業に参加し、そこでの学びを看護師としての実務経験や職能団体での実務経験のある教員とディスカッションすることによって、看護におけるトップマネジメント機能の特徴と方法・課題について学ぶ科目である。
11085	クリティカル・シンキングⅡ	1	看護師として病院での実務経験のある教員が対象を理解し、必要な看護を明らかにする看護専門職としての思考過程を教授する科目である。
11002	病態生理学	2	臨床で遭遇する主要な症状について、講義テキストや参考図書に書かれている事項を詳細に解説すると同時に、実際に看護師としての実務経験で遭遇した事例を交えて解説し、教科書的な正確な知識に加えて実務的な知識を盛り込むようにしている。
11077	解剖生理学演習	1	解剖見学において、例えば採血や静脈内投与に用いられる血管の走行、術後に留置されるドレーンの位置、ボディメカニクスで必要となる関節の構造と運動など、看護師としての実務経験を基に実際に看護を提供するために必要な解剖学的知識に基づいた解説を行なっている。
18035	体の仕組みと働きⅠ	2	全身の骨格・骨格筋の解説では、ボディメカニクスなど看護師としての実務経験を基に看護技術の実践に必要な身体の運動に関連させて解説している。循環器(心臓・血管)、呼吸器(気道・肺)、消化管について、フィジカルアセスメントに必要な解剖学的知識を解説している。
18036	体の仕組みと働きⅡ	2	神経系において、意識状態のアセスメントに必要な神経系の機能および神経走行などの構造について解説している。体温、血糖、体液浸透圧の調節に関しては、看護師としての実務経験から発熱や高血糖、脱水という遭遇しやすい病態とも関連させて解説している。

小計 8科目 11単位

科目番号	授業科目名	単位数	授業内容（実務経験を活かした教育内容等）
11009	看護学概論	3	看護師として経験のある教員が、1年生に「看護とは何か」についての理解を促すために基本的な概念に関する講義を行い、その後臨地での見学演習で学内で学んだ内容と看護の実際をつなげさせる科目である。
11079	基礎看護援助方法Ⅰ	1	看護師として臨床経験のある教員が、看護の基本的な日常生活援助技術、ならびに、バイタルサイン測定等のフィジカルアセスメントについて、基本的な知識を講義し、また演習で学ばせる科目である。
11080	基礎看護援助方法Ⅱ	1	看護師として臨床経験のある教員が、看護の基本的な技術であるフィジカルアセスメント、清潔・食事・排泄に関する援助について、基本的な知識を講義し、また演習で学ばせる科目である。
11089	基礎看護援助実習Ⅱ（看護過程実習）	2	看護師として経験のある教員が、学生が一人の患者を受け持つことを通して、患者との相互関係の成立・発展、看護過程を使って対象の状況に合わせた看護実践を行うこと、倫理面を学ぶことを指導する科目である。
18047	キャリア教育Ⅰ	1	看護師としての実務経験のある教員が、入学したばかりの1年生に対して、看護の専門性とは何か、また今後大学でどのような勉強を行っていくのか、について指導する科目である。
11088	基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1	看護師として臨床経験のある教員が、学内で指導したフィジカルアセスメントならびに日常生活の援助を学生に臨地実習の場にて実践させ、看護援助の基礎的知識・方法・目的ならびに自律的な学び方を学習させる。
11081	基礎看護援助方法Ⅲ （治療・診療を受ける対象への援助）	1	看護師として臨床経験のある教員が、診療の補助業務関連の看護技術を安全安楽に実施するための基礎知識を講義すると共に、臨床を再現した環境で技術演習できるよう、現場に即した状況設定、環境整備を行っている。
11082	基礎看護援助方法Ⅳ	1	看護師として臨床経験のある教員が、論理的思考に基づき看護ケアを提供する「看護過程」のプロセスについて講義を行う。また、臨床に即した事例を作成し、それに基づき学生が看護過程を展開する演習を行っている。
11108	看護の統合実習	2	看護師として臨床経験のある教員が、4年生に対し、文献検討やこれまでの学修に基づいた看護を臨床実習で実践し、看護の目的と役割・機能、よりよい看護についての考えを深めるために、指導をする科目である。

科目番号	授業科目名	単位数	授業内容（実務経験を活かした教育内容等）
11037	小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助論）	2	子どもと家族に対する看護実践経験のある教員が、子どもの成長・発達及び健康課題に応じた日常生活援助の方法について教授する科目である。
11038	小児看護援助論Ⅱ	1	子どもと家族に対する看護実践経験のある教員が、健康障害のある子どもとその家族への援助方法について教授する科目である。
11090	母性・小児看護学実習	5	子どもと家族に対する看護実践経験のある教員が、臨地において、子どもの成長・発達及び健康レベルに応じた看護計画の立案、実践とその評価について指導を行うと共に助産師としての実務経験を持つ教員が、医学的部分を含めた母性・助産学領域の胎児および母子、家族への支援・援助の実践を検討していく科目である。
18049	キャリア教育Ⅲ	1	看護職として実務経験のある教員が、専門職として組織・チームに貢献するための取り組みについて事例を用いて演習を行う科目である。
11078	生涯発達ケア論	2	看護職として実務経験のある教員が、人の生から死までの生涯にわたる発達について、様々な専門的視点から授業を展開し、発達に応じたケアを教授する科目である。
11086	クリティカルシンキングⅢ	1	病院、デイケア、外来、保健センターで看護師として臨床経験のある教員が、現場での現象をどのように研究として探求し、「看護の知」として発信していくのか、また発信されたもの（文献）をどのように批判的に評価するのか指導する科目である。
11098	精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2	精神科病棟・精神科デイケア・精神科外来看護の経験のある教員が、心理発達、地域精神医療保健福祉、精神疾患を持つ人を支援する看護援助、リエゾン精神看護について指導する科目である。
11099	精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1	精神科病棟・精神科デイケア・精神科外来看護の経験のある教員が、精神疾患を持つ人との関係構築、コミュニケーション、アセスメントおよび看護援助について指導する科目である。
11100	精神看護学実習	3	精神科病棟・精神科デイケア・精神科外来看護の経験のある教員が、精神疾患を持つ人を支援する看護援助について指導する科目である。地域精神医療保健福祉、精神科病棟での看護援助、グループの治療的効果等について指導する。

科目番号	授業科目名	単位数	授業内容（実務経験を活かした教育内容等）
11092	慢性期看護援助論	2	臨床看護実践経験と研究実績のある教員が、実践事例に基づく理論の理解、慢性疾患患者の特徴の理解、ケア技術について講義を行っている。
11093	終末期看護援助論	2	終末期・終末期に関する臨床での看護経験と研究の実績のある教員が担当し、エンドオブライフにある患者と家族の特徴と、必要とされる看護および看護師の役割について講義と演習を行っている。
11083	基礎看護援助方法 V	1	本授業の中心を成すOSCEは、生活編を在宅看護実務経験のある教員が、また、治療編を急性期看護実務経験のある教員が実際の臨床事例をストーリーに基づき作成し、講義演習の実施と評価を行っている。
11091	急性期看護援助論	2	急性期看護の実務経験のある教員が、急性期看護における必要な基礎的知識や実際の臨床事例を用いながら知識の活用とアセスメントのポイントを教授している。
11094	急性期・慢性期看護学実習	5	急性期・慢性期看護の実務経験のある教員が、学生が患者及び家族を受け持ちながら、対象の理解、治療に伴う生活と健康への影響ならびに看護の必要性について、既習の知識・演習を活かし、看護実践を展開することを教授している。
11107	災害看護援助論	1	被災地での支援経験を持つ教員が災害に関する社会の仕組みや個人の備え、災害が人々に及ぼす影響と災害サイクルにおける看護活動等を教授している。
11087	チーム活動論	1	看護職として、チームで働いた経験のある教員が実際の場面を想定しながら、授業展開を行っている。
11101	公衆衛生看護援助論 I (対象別公衆衛生看護活動論)	2	保健師経験のある教員が、事例を用いながら、公衆衛生看護学の目標および展開の実際について講義を行っている。
11102	公衆衛生看護援助論 II (公衆衛生看護技術論)	2	保健師経験のある教員が、実際の地域のデータ分析を行いながら、地域診断の指導を行っている。

科目番号	授業科目名	単位数	授業内容（実務経験を活かした教育内容等）
18039	医療安全管理学 (臨床工学・危機無管理学・感染制御学)	2	看護職として実務経験のある教員が、「人は間違える」という前提のもと、どのように組織的に安全管理を行うかについて講義を行っている。
18048	キャリア教育Ⅱ	1	看護職として実務経験のある教員が、倫理的課題について、様々な方向から考え、対話を通して状況を整理する枠組みおよび手法の教授を行っている。
11103	公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護展開論)	3	行政に保健師として勤務した経験を持つ教員が、地域診断、健康診査、家庭訪問、健康教育について、演習を交えながら実践的に指導する学び、社会情勢を踏まえて的確に健康問題を捉え、専門家として問題を解決・改善していくための方法を学ぶ。
11104	保健指導演習	1	行政に保健師として勤務した経験を持つ教員が、ヘルスプロモーション活動における支援方法のひとつである保健指導について、健康状態、生活習慣、家庭生活、労働生活および環境について、それらを関連させて対象の理解について、教育する。
11105	地域保健活動演習	1	行政の保健師として勤務した経験を持つ教員が、健康の保持・増進のための品川区住民に向けた健康づくり事業を企画し、学生に対し実践されている施策、事業や活動の目的、内容、方法等を指導し、PDCAサイクルの活用方法も含め教育する。
11106	公衆衛生看護学実習	4	行政の保健師として勤務した経験を持つ教員が、実習施設の保健師と共に地域で生活している人々や環境に対する理解を深め、実践をとおして健康ニーズに対応した公衆衛生看護活動に必要な基礎的知識・技術・態度を修得できるよう教育する。
11055	老年看護援助論Ⅰ（健康生活援助論）	2	看護師として高齢者看護の実務経験のある教員が、わが国の高齢者施策の過去・現在・未来を踏まえた上で、高齢者と家族の健康生活を支援する老年看護の特徴と基本的な考え方、および具体的な看護方法について教授する科目である。
11056	老年看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論）	1	看護師として高齢者看護の実務経験のある教員が、認知症を有しながら生きる高齢者と家族への看護を通じて、本人を主体とした高齢者ケアの基本的な考え方や看護方法について、当事者DVDや事例を用い、実践的な内容を教授する科目である。
11097	老年・在宅看護学実習	5	看護師として対象者（全年齢・全病期）と家族に対する看護の実務経験のある教員が、様々な健康課題を有し、暮らしの場で療養する子どもから高齢者、その家族への看護実践を通じて、対象者と家族の暮らしや生き方を尊重した看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度の修得と看護のあり方について教授する科目である。

科目番号	授業科目名	単位数	授業内容（実務経験を活かした教育内容等）
11095	在宅看護援助論Ⅰ（健康生活援助論）	1	看護師及び保健師として地域・在宅での実務経験のある教員が、在宅看護の対象特性、基本的な考え方、療養生活を支援する社会システムや法制度について指導する科目である。
11096	在宅看護援助論Ⅱ（療養生活援助論）	1	看護師、保健師、理学療法士として地域・在宅での実務経験のある教員が、在宅看護を必要とする本人とその家族への基本的な看護技術、リハビリテーション、看護過程について指導する科目である。
11041	母性看護援助論Ⅰ（健康生活援助論）	2	周産期医療の臨床において助産師としての実務経験を持つ教員が、医学的部分を含めた母性・助産学領域の胎児および母子、家族への支援・援助を学術的に検討していく科目である。
11042	母性看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論）	1	周産期医療の臨床において助産師としての実務経験を持つ教員が、医学的部分を含めた母性・助産学領域の胎児および母子、家族への支援・援助を学術的に検討していく科目である。
11073	養護概論	2	小・中学校の養護教諭として実務経験のある教員が、養護教諭という職制の歴史や保健室の特性を踏まえ、養護に関する基本的な概念について指導する科目である。
11074	学校健康相談	2	小・中学校の養護教諭として実務経験のある教員が、学校における児童生徒の現代的な健康課題解決のために、養護教諭の専門性を活かした健康相談の理論と実際について指導する科目である。
14019	養護実習事前・事後指導	1	小・中学校の養護教諭として実務経験のある教員が、学生の養護実習に対する準備性を高める指導、並びに養護実習後の振り返りを促し成果と課題を明確にする指導を行う科目である。
14020	養護実習	4	小・中学校の養護教諭として実務経験のある教員が、養護教諭を中心とした学校現場の教職員と連携を図り実習の目標を明確にした上で、具体的な学校保健活動や保健室における児童生徒へのかかわり方を学ぶ科目である。
14018	教職実践演習（養護教諭）	2	小・中学校の養護教諭として実務経験のある教員が、学生の教職への志向性や実践力を高め、卒業後も自ら育つ力を養う科目である。

小計 9科目 16単位

合計 53科目 96単位